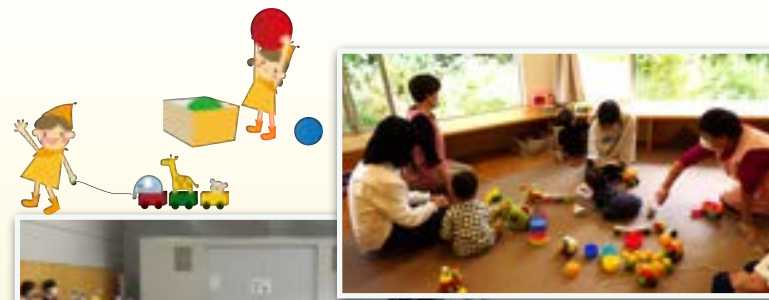


《子育てサロンらっこ》

月2回のサロンでは、地域で子育てを経験した先輩スタッフが地域の子育て情報などをお伝えしています。親子の交流の場として大事にしていますので、ぜひお気軽に遊びにいらしてください。年4回のイベントも開催しています。



《オレンジ♡しのはら》

令和5年11月18日(土) しのはら合同文化祭
～「若年性認知症講演会」地区社協との共催～

横浜市総合保健医療センター若年性認知症コーディネーターの内山氏による講義や当事者との対談では、受診のきっかけ・周りの人達の手助けで日々生活する様子などのお話がありました。自己開示が周囲の理解をもたらし、快適な生活につながる事を学びました。

その後「GrASP-asahi 横浜中西部」(横浜市唯一の若年性認知症に特化したデイサービス)からは、当事者によるバンド「ストロベリーパラダイス」の演奏が披露されました。来場者約50人は素晴らしい歌声と音楽に魅了され、アンコールの拍手も起こりました。

高齢者だけでなく、家庭を持つ若い働き盛りの方でも悩むことがある認知症の現状を理解し、社会や地域全体でサポートしていけるようになればと思います。



しのはら vol.3 篠原地区社会福祉協議会広報紙



《新年のご挨拶》

新年明けましておめでとうございます。
昨年5月新型コロナウイルス感染症が、5類に移行され、皆様の生活も徐々に今迄に戻りつつあると思います。

今年は、地域・福祉等の活動は形を変えながらも従来通りに開催できる見込みです。地域の皆様には、篠原健民祭やお祭りをはじめ、各自治会・社協の団体等のイベントに参加して頂き、顔が見える関係を築きながら、誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくりを目指して行きます。これからもご支援・ご協力をお願い致します。



加藤修会長

《社会福祉協議会とは》

篠原地区社会福祉協議会は、住民にとって最も身近な社会福祉協議会(以下、社協)として、「自分たちのまちは自分たちでよくしていこう」という気持ちで組織された、地域住民による任意の団体です。篠原地区に住む方一人ひとりの困りごとに向き合える地域を目指して、関係機関とのネットワークを活かしながら日々活動しています。篠原地区では、子育てサロンや高齢者・障がい者支援などの地域福祉活動が長く行われています。

活動紹介シリーズ 第3回 《保護司》

保護司は保護司法に基づき、法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員(民間ボランティア)で、地域で保護観察官と協働して更生保護の仕事をしています。篠原地区には現在4名が活動中です。

保護司の一ヶ月の基本活動

活動犯罪や非行により「保護観察」を受けることになった人の生活を見守るため月に2～3回程度、訪問したりして面接を行います。様々な相談にのるほか、助言や指導も行います。また、毎月1回、面接の内容を「報告書」にまとめ、保護観察所に提出します。

中学生との座談会



ホゴちゃんサラちゃん

その他の活動

釈放後の受入れ態勢を整える環境調査。犯罪や非行を未然に防ぐ事を目的として、様々な犯罪予防活動(街頭キャンペーン、講演会、シンポジウム他)を実施し、医療関係者、学校・福祉・警察等の機関と連携して更生保護の啓発活動を行っています。

日産スタジアムでの広報



《港北ほくほくフェスタ》 令和5年11月2日(木) 港北公会堂・港北区役所前中庭

～活動功労者の表彰～

地域で福祉活動等に携わってこられた皆様の功績をたたえ、感謝をお伝えする港北区社会福祉大会が開催されました。篠原地区からは地域福祉活動功労者として石川照美様、福田千津様 ボランティア活動功労者として狩野千鶴様、中坪清子様 の4名が受賞されました。おめでとうございます。



～港北区ボランティア連絡会による「ボランティアの広場」～

港北区ボランティア連絡会主催の「ボランティアの広場」が同時開催されました。新鮮な野菜やお花、障がい者施設や作業所の製品やお菓子の販売、バザーの開催に加えて、模擬店も出店され賑わいました。



《しのはら合同文化祭》 令和5年11月18・19日(土・日)

日頃、地区センターや地域ケアプラザで活動されている団体の成果発表や、若年性認知症をテーマにした講演会、保健活動推進員の皆さんと生命保険会社による健康測定会、作業所の製品販売などさまざまな企画が行われました。

新型コロナウイルス感染症の影響による制限がなくなり、活気が戻ってきたように思います。

演奏会



作品展示



編集後記

令和5年は各団体の活動もほぼコロナ前に戻り、地域の人々の交流が活発に行われました。残念ながら健民祭は雨天中止となりましたが、港北ほくほくフェスタやさわやか交流会は創意工夫で無事に開催されました。今年も各地域のイベント開催を企画しています。地域の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

発行 篠原地区社会福祉協議会 編集委員 斉藤 西山 安藤 熊倉M 村野 熊倉Y 森田T 森田H 高井(ケアプラザ)



<民生児童委員・主任児童委員>

「民生委員」は、民生委員法に基づいて厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行なっています。全ての民生委員は「児童委員」も兼ねており、子育ての不安に関する様々な相談や支援を行っております。今回は篠原南地区（篠原台町・篠原西町・仲手原南・仲手原）の民生児童委員・主任児童委員をご紹介します。

《篠原南地区民生委員児童委員の取り組み》

1. ひとり暮らし高齢者の見守り
2. 地区社協主催 「さわやか交流会」
3. 各地区で、ミニデイを行う
4. 赤い羽根共同募金で街頭での協力



その他自治会ごとにボランティア活動に協力しています

《さわやか交流会》

令和5年10月各地区

今年は4年ぶりにお一人暮らしの高齢者の交流会を対面で実施することができました。企画は各地区で工夫し、漫才あり、お茶会あり、歌あり、ゲームあり。参加者の皆様も民生児童委員も一緒に笑顔で楽しみました。



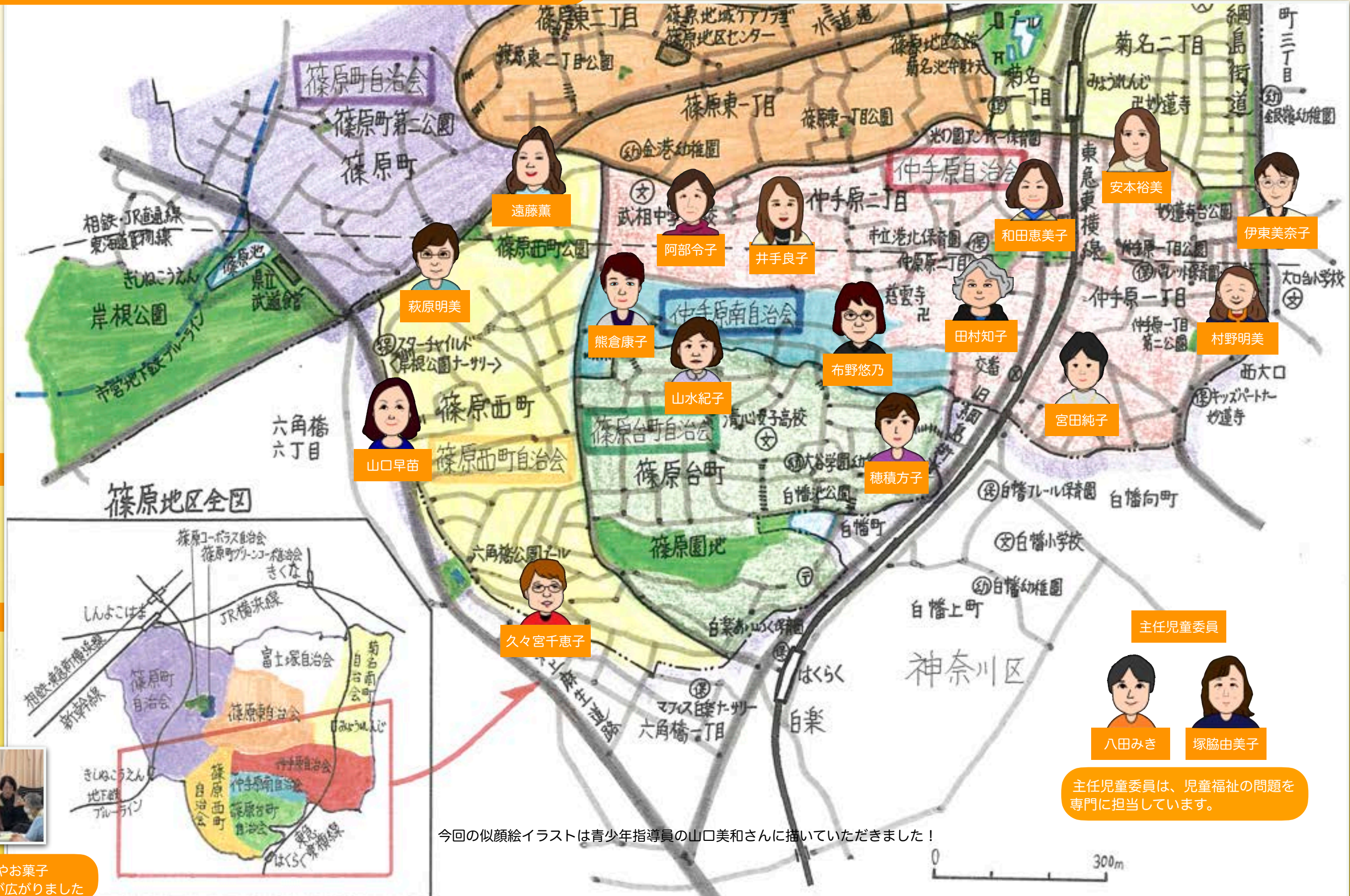
防犯漫才の熱演大好評！



カフェで楽しくおしゃべり



仲手原: 季節のお弁当 みかんやお菓子
「歌と三味線」の鑑賞で交流が広がりました



今回の似顔絵イラストは青少年指導員の山口美和さんに描いていただきました！

主任児童委員



主任児童委員は、児童福祉の問題を専門に担当しています。